

かざはや
風早
トンボサミット
2022

オオキトンボは希少な赤トンボの仲間(環境省絶滅危惧ⅠB類)ですが、松山市北条地域は最も多く生息する地域の一つです。



オオキトンボ・羽化直後



オオキトンボ・縄張り中

【日時】
令和4年10月30日(日)
13:00~16:00

【場所】
北条ふるさと館1階研修室
松山市河野別府995

オンラインZoomでも参加できます!

■講演
虫の目で自然観察を楽しむ!

新開 孝さん(昆虫写真家)

■オオキトンボの調査、トンボを守る活動の報告 など

■ディスカッション

オオキトンボがいる里地には、いろんな生きものがすんでいます。
生きものの不思議(ふしぎ)や観察(かんさつ)のおもしろさに気づき、守ることも考えます!

NPO法人森からつづく道は、2016年からオオキトンボ保全のために調査・啓発活動を行っています。



オオキトンボ・産卵中

【主催】NPO法人 森からつづく道

【協力】日本トンボ学会
愛媛大学農学部環境昆虫学研究室
風早活性化協議会

【後援】愛媛県、松山市、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、NHK松山放送局、愛媛新聞社

くわしい内容・申し込み方法はウラへ!

この事業は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施します。

スケジュール・内容

12:30 受付開始
13:00 プログラムスタート

トンボもふくむ身近な虫のくらしを読み解くことから自然を広く眺めてみましょう。生きものと環境との関わり方を、虫の「しわざ」や「行動」などの生態写真で紹介します。

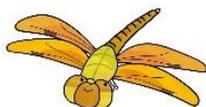
■講演 『虫の目で自然観察を楽しむ!』
新開 孝(しんかい たかし) さん (昆虫写真家)

1958年、愛媛県生まれ。愛媛大学農学部環境保全学科卒。応用昆虫学専攻。教育映画の演出助手などを経て、フリーの昆虫写真家として独立。昆虫の多様で不思議な生態や形態を掘り下げ、独自の視点から撮影を続けるほか、様々な動植物にも目を向け、生き物たちのつながりも観察、撮影する。宮崎県三股町在住。主な著書に『むしこぶ みつけた』(ポプラ社)、『うまれたよ!カメムシ』(岩崎書店)、『虫たちのふしぎ』(福音館書店)、『虫のしわざ観察ガイド』(文一総合出版)、『虫のしわざ図鑑』(少年写真新聞社)など多数ある。



13:50 ■休憩

14:00 ■オオキトンボの調査、
トンボを守る活動の報告など



- (1) オオキトンボの希少性と現状
久松 定智 さん
(日本トンボ学会自然保護委員会オオキトンボ部会長)
- (2) 北条地域のオオキトンボ調査からわかったこと
松井 宏光 (NPO法人森からつづく道 代表)
- (3) 愛媛県のトンボの種類と現状
武智 礼央 (NPO法人森からつづく道 理事)
- (4) 四国のトンボの現状と課題
杉村 光俊 さん
(公社)トンボと自然を考える会 常務理事)

15:20 ■ディスカッション
『里地の生きものが減っている?
身近な生態系を守るために』

コーディネーター 吉富 博之 さん
(愛媛大学農学部環境昆虫学
研究室准教授)



オオキトンボ・幼虫



Web
申し込み

お申し込み【締切 10月25日】

<https://forms.gle/ZBgJRF3stFr9YhfA9>

Webで申し込みいただくか、下表に記入しFAX、あるいは同内容をe-mailで送信願います。
NPO法人 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7 TEL:089-992-9152)
FAX:089-992-9152 e-mail:info@morimichi.org

無料
★小学生
以上対象

お名前(年齢)	(歳)	住所	(都道府県、市町村まで)
参加形態 (✓を記入)	<input type="checkbox"/> 会場(北条ふるさと館)参加 ★定員:40名		<input type="checkbox"/> オンラインZoom参加 ★定員:100名
E-mail(オンライン参加の方は必須)	所属組織		(自然関係の団体や学校名など)
■オプション オオキトンボの産卵および ため池周辺の生きもの観察会 10:00 北条ふるさと館集合 ★先着20名		<input type="checkbox"/> 参加する 電話番号	10:00 北条ふるさと館ロビー集合→ ため池へ移動・オオキトンボ産卵の観察→ ふるさと館へ移動→ 11:30 一度解散 (昼食は近隣の飲食店利用、ふるさと館の 公園でお弁当など、各自ご対応ください)

参加希望
の場合、
記入